

県民生活・土木交通常任委員会 県外行政調査

1 調査日 平成 28 年 11 月 8 日（火）～10 日（木）

2 調査の概要

11 月 8 日（火）

（1）宮城県議会（宮城県仙台市）

調査事項：

「2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた宮城県の取組に関する基本方針について」

「宮城県 2020 東京オリンピック・パラリンピック推進本部会議等について」

宮城県においては、平成 26 年 4 月に 2020 東京オリンピック・パラリンピック推進本部を設置し、早くからオリンピックに向けた取り組みを行っている。

また、平成 28 年 3 月には「2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた宮城県の取組に関する基本方針」を策定し、本年度から庁内に準備チームを設置し、東京五輪への対応を強化されている。

一方、本県においても、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けての取り組みが今後なされていく予定となっている。

こうしたことから、今後の参考とするため、宮城県における東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組み等について調査を行った。



(2) 公益財団法人 宮城県スポーツ振興財団（宮城県宮城郡利府町）

調査事項：

「施設の概要等（ひとめぼれスタジアム宮城等）について（現地視察含む）」

「東京オリンピック・パラリンピックに向けた財団の取り組み等について」

宮城県スポーツ振興財団においては、宮城県立施設である「ひとめぼれスタジアム宮城」や「セキスイハイムスーパーアリーナ」などの指定管理者となっている。

また、東京オリンピックでは、サッカー会場の一つとして東北地方唯一のスタジアムとして「ひとめぼれスタジアム宮城」の使用が決定されているところである。

一方、本県においては、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けての取り組みが今後なされていく予定となっている。

こうしたことから、今後の参考とするため、宮城県スポーツ振興財団を訪問し、「ひとめぼれスタジアム宮城」などの施設の概要や東京オリンピック・パラリンピックに向けた財団の取り組み等について調査を行った。



11月9日（水）

(3) 十和田市議会（青森県十和田市）

(4) 十和田市現代美術館（青森県十和田市）

調査事項：

「Arts Towada（アーツトワダ）計画の概要等について」

「十和田市現代美術館の概要等について（現地視察含む）」

十和田市においては、より魅力的で美しい官庁街通りの景観を作り出し、未来に向けた新しいまちづくりの一環として、Arts Towada（アーツトワダ）計画に取り組まれている。

本計画は、官庁街通りという屋外空間を舞台に、通り全体を一つの美術館に見立て、多様なアート作品を展開していくものであり、世界的にも珍しい取り組みである。

また、十和田市現代美術館は、本計画の中核となる施設であり、「アートを通じた新しい体験を提供する開かれた施設」としてアート作品の展示のほか、文化芸術活動の支援や交流を促進する拠点施設である。

なお、38点の恒久設置作品が展示されている常設展は33組のアーティストによるコミッションワークにより構成されている。

一方、本県においては、「新生美術館」の整備に係る実施設計が進められているが、設計者の中核メンバーは、十和田市現代美術館と同じで、コミッションワークの制作も予定されている。

こうしたことから、今後の美術館整備における参考とするため、十和田市のArts Towada（アーツトワダ）計画および十和田市現代美術館の概要等について調査を行った。



11月10日（木）

（5）青森県議会（青森県青森市）

調査事項：

「地域公共交通網形成計画の概要等について」

青森県においては、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律にもとづき、将来にわたって持続可能な公共交通を中心とした交通ネットワークを維持、構築するための基本的な方向と具体的な施策をまとめた地域公共交通網形成計画（計画期間：平成28年度～平成34年度）を平成28年3月に策定している。

本計画では、対象区域を青森県全域とし、県民の暮らしの足を支える広域の公共交通ネットワークをつくる、広域的な移動を確保する有機的な連携のしくみをつくる、交通事業環境変化の中でも持続可能な公共交通の基盤をつくる、の3つを基本方針とし、年次ごとの目標や達成のためのプロジェクトも明記されている。

一方、本県においては、今年度、「大津湖南エリア地域公共交通活性化協議会」を立ち上げ、公共交通の活性化に向けた課題を洗い出し、次年度内を目途に大津湖南地域公共交通網形成計画の策定が検討される予定となっている。

こうしたことから、今後の参考とするため、青森県における地域公共交通網形成計画の概要等について調査を行った。



(6) 新青森県総合運動公園体育館（青森県青森市）

調査事項：

「施設の概要等について（現地視察含む）」

新青森県総合運動公園体育館「マエダアリーナ」は、県立で整備された青森市内にある新青森県総合運動公園内の最大施設で、竣工は平成14年、床面積がメインアリーナで2,944㎡、サブアリーナで1,472㎡となっている。

一方、本県においては、国体開催を平成36年に控えており、現在それに向けて、県立体育館の移転新築が計画されている。

こうしたことから、今後の参考とするため、本県で計画されている新体育館の想定規模と比較的近いことから、新青森県総合運動公園体育館の施設の概要等について調査を行った。

